

授業科目	教育学原論	2単位	必修	講義	1 学年後期	担当教員	准教授 小野崎 美奈子					
授業の概要	① 教育の基礎的概念、理論、歴史及び学校の仕組み等についての理解を深めるようにする。 ② 教育の意味・意義について考察し、現状の課題や今後の教育の在り方について認識を深める。 ③ 生涯学習社会における教育の現状についての見識を深め、将来の教育者としてふさわしい資質や態度を伸長する。											
到達目標				学習成果Ⅰ		学習成果Ⅱ		学習成果Ⅲ				
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 教育の基本概念について理解している				◎		◎						
2. 教育に関する歴史及び課題を理解している。				◎		○	○		○			
3. 教育に関する思想を理解している。				◎		○	◎		○			
4. 教育実践の基礎について理解している。					○		○	○	○	◎	◎	○
5. 生涯学習における教育の現状について理解している。				◎		◎						
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照												
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標					復 習				
1	オリエンテーション 教育の意義	シラバスに目を通しておく。 教科書 p2～12 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 講義内容について、概要を把握する。 保育者になるための教育の学びを理解する。 					今後の学びの見通しを立てる。 本時の学習内容をまとめておく。				
2	教育の目的	教科書 p14～24 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法、教育基本法、学校教育法に定められる教育理念、教育目的について理解する。 保育現場の教育目的と目標を理解する。 					本時の学習内容をまとめておく。				
3	教育と児童福祉の関連性	教科書 p26～36 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 教育と児童福祉の関連を理解する。 新たな子ども・子育て支援を理解する。 					本時の学習内容をまとめておく。				
4	人間形成と家庭・地域社会	教科書 p38～48 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 地域のなかで行われる保育所保育を理解する。 教育資源としての家庭や地域について理解する。 					本時の学習内容をまとめておく。				
5	諸外国の教育思想・歴史	教科書 p50～60 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> コメニウス、ルソー、フレーベル、ペスタロッチー等の教育思想を理解する。 					本時の学習内容をまとめておく。				
6	諸外国の教育の歴史	教科書 p62～72 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 諸外国における公教育及び幼児教育の発展について理解する。 					本時の学習内容をまとめておく。				
7	日本の教育思想・歴史	教科書 p74～84 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 日本における公教育及び幼児教育の発展について理解する。 倉橋惣三、城戸幡太郎等の教育思想を理解する。 					本時の学習内容をまとめておく。				

8	子ども観と教育観	教科書 p86～96 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本及び諸外国における近代的孩子観の登場と歴史的変遷について理解する。 ・近代教育に影響を及ぼした教育思想を理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
9	教育制度の基本	教科書 p98～108 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育制度及び近代教育の起こりについて理解する。 ・教育拡散問題について理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
10	教育の法律と行政	教科書 p110～120 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育を規定する法律を理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
11	諸外国の教育制度	教科書 p122～132 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・諸外国の教育の現状と課題を理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
12	教育実践の基礎	教科書 p134～144 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムについて理解する。 ・日本の保育内容、方法及び保育形態を理解する。 ・PDCA サイクルについて理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
13	さまざまな教育実践	教科書 p146～p156 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・フレーベルやモンテッソーリ等の理論に基づく幼児教育を理解する。 ・これからの教育実践の課題を理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
14	生涯学習社会と教育	教科書 p158～168 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯教育とは何かを理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
15	現代の教育課題 まとめと振り返り	教科書 p170～180 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の教育課題を理解する。 ・本講義のまとめ ・ノート、資料、レポート等から学びを振り返る。 	本時の学習内容をまとめておく。 学びの成果と課題を把握する。
成績 評価	講義への取り組み（態度、レポート等の提出物）（40％） 期末試験（60％） 合計100％			
教員 からの コ メ ン ト	教育制度や内容について歴史的観点から把握することで広い視野と見通しをもって幼児期からの教育に取り組むことができるようになります。 先人の教育観に触れて自ら考えることにより、自分自身の「子ども観」や「教育観」の確立に役立てましょう。			
教科 書	書名 新・基本保育シリーズ2 教育原理 著者 矢藤誠慈郎・北野幸子編 発行所 中央法規	推薦 図書	必要に応じて随時紹介する。	